

30日に肺がん公開講演会 松江

肺がんをテーマにした市民公開講演会が三十日午後一時から、松江市学園南一丁目のくびきメッセで開かれる。参加無料。

肺がん手術の件数が山陰で最も多い国立病院機構松江病院(松江市上乃木五丁目)が、予防・早期発見の大切さや進歩する医療技術の実情を知ってもらおうと企画した。

当日は四つの講演で構成。池田敏和呼吸器科医長が検診の重要性や高性能CTの特徴を紹介し、徳田佳之同科医師が薬物療法、放射線療法について話す。

この後、昨年末に九十五歳で肺がん手術を受け、いまでも元気に暮らす男性の体験談を、家族が「百歳まで長生きしたい」とのテーマで紹介。目次裕之外科医師が体への負担が少なく、高齢者にも適している胸くう鏡手術の説明などを行う。

問い合わせは松江病院(電話0852・21・6131)。

